

**Gifu - Hungary Friendship Association**

Minokamo-city, Ota-cho 3431-1, 505-0041

TEL : 0574-28-1600 FAX : 0574-25-3917

HP: <http://www.gifu-hungary-fa.com/index.html>

2010. 5発行

この春は、寒暖の差が大きく農作物など社会に影響がでています。皆様にあつては、お体を大切に過ごされよう祈念いたします。

今年は、これまでに国際フォーラム、ファルヴァイ教授のリサイタル、オンツァイ教授とヴィグ教授のチェロとハーブ、リスト音楽院の仲間たち〜新進トリオ〜などのコンサートを始め、ハンガリーデー（タベ）と様々な事業を展開しています。

この後には、大使館コンサートやぎふ・リスト音楽院マスターコースといった事業が控えていることから一層のご支援をお願いいたします。

## 1. 国際フォーラム・観光と交流と創造（2月20日 大垣女子短期大学みずきホール）

大垣女子短期大学の創立40周年を記念して開催したもので、当協会は大学などとの共同主催となりました。出席者は、ハンガリー政府観光局長のコーシャ・バーリン氏、オーストリア政府観光局長代理のモラス彩子氏、観光庁国際観光政策課長の大高豪太氏、岐阜県観光交流推進局長の古田菜穂子氏をパネリストに、名古屋学院大学教授の古池嘉和氏をコーディネーターにお迎えして開催しました。それぞれ、違う視点から観光の大切さを話されました。会場からは熱心な質問も出され、有意義なフォーラムとなりました。



「コーシャ局長とモラス局長代理」

## 2. ファルヴァイ・シャーンドル ピアノリサイタル（2月24日 仙川アヴェニュー・ホール）

毎年夏に、ぎふ・リスト音楽院マスターコースに来ていただいているリスト音楽院前院長のファルヴァイ・シャーンドル教授が、数年ぶりに東京でリサイタルを開催されました。これは、仙川アヴェニュー・ホールの強い要望から実現したもので、当協会の音楽部門である日本・リスト音楽院楽友会が協力をしました。リサイタル当夜は、リスト、ショパンそしてベートーヴェンの曲が並び、期待がふくらむプログラム構成となりました。

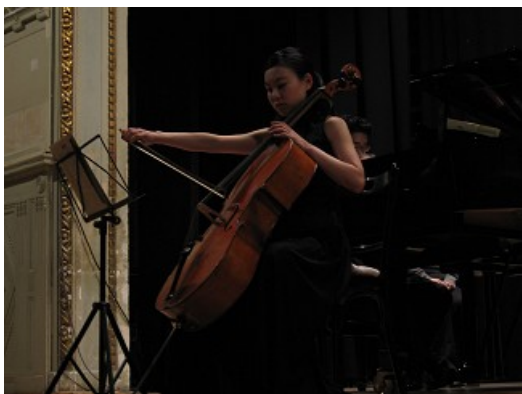
ファルヴァイ教授は丁寧に、時に強く、時に優しく弾かれ、精神にも触れるようなその演奏に、満員の観衆は魅了されていました。会場には多くの修了生も来場しており、ファルヴァイ



「ファルヴァイ教授を囲んで」

教授の音楽の世界を再認識しているようでした。コンサート後は、教授を囲んだ食事会となり、音楽談義や留学中の逸話など、遅くまで話題が絶えませんでした。席上、協会から来年のコンサート提案が出され、関心を高めていました。コンサート提案については、他紙面にて紹介させていただく予定です。

### 3. 今年も満席で終了、フレンドシップコンサート (3月18日 リスト音楽院小ホール) ブダペスト スプリング フェスティバル 2010



「演奏する松山翔子さん」

フレンドシップコンサートは、ブダペスト春の祭典に併せて岐阜県ハンガリー友好協会が企画し、元駐日大使のシュディ夫妻が運営、リスト音楽院教授陣が協力して毎年開催しているコンサートで、8回目の開催となります。今年は、大迫綾香さん、松山翔子さん、浅井高平さん、岩崎由佳さんら留学生7人と、和田さやかさん、ファルヴァイ・カタリンさんの修了生2人が参加しました。またプログラムは、日本の曲から中田喜直「日本の四季から」、メンデルスゾーン「スコットランドソナタ」

「ピアノ三重奏第1番から第1楽章」、バルトーク「ハンガリー狂詩曲第1番」、シューマン「幻想小曲集」、そしてショスタコヴィッチ「2台のピアノのためのコンチェルティーノ」と並びました。いずれも聴き応えのある演奏で、満席の会場から惜しめない拍手が贈られていました。

毎回人気のコンサートで、会場で顔なじみになる人も現れるなどこれからも続くことが期待されています。

### 4. チェロとハープのコンサート (3月25日～30日 岐阜県、愛知県合わせて5会場)

桜の開花時期となり、オンツァイ教授とヴィグ教授が岐阜に来られました。これは、昨夏のマスターコース期間中にその会場のクララザールで話題となったチェロとハープのコンサートが実現したものです。

今回は、名古屋、大垣、岐阜、高山、中津川の5会場での開催となりました。会場によって聴衆の多少はありましたが、いずれも内容の濃いコンサートで、満足して帰られる聴衆が多くいらっしゃいました。ヴィグ教授は、初来日。オンツァイ教授は桜の時期の来日は初めてとあって、各地の桜の名所では、時間を忘れて写真撮影などに夢中となっていました。



「市古洋子さん、オンツァイ教授、ヴィグ教授 3/25宗次ホール (名古屋市)」

### 5. リスト音楽院の仲間たち～リストにふれた新進トリオ～ (4月6日・7日 大垣、名古屋)

リスト音楽院に留学したり教授に師事したりと、ハンガリー音楽に親しんでいるピアノ、ヴァイオリン、チェロの3人が、東京芸術大学附属高校からの同窓生だったことが分かり、楽友会の呼びかけに応じてトリオを編成し、コンサートを開きました。

この3人は、ピアノ五島史誉さん、ヴァイオリン井上奈央子さん、チェロ向井航さんです。プログラムは、チャイコフスキーのなつかしい土地の思い出よりメロディ、モンティのチャールダーシュ、ラフマニノフのヴォカリーズ、リストのハンガリー狂詩曲と続き、後半にメンデルスゾーンのピアノ三重奏第1番ニ短調でした。注目のトリオ演奏では、向井さんの荒々しい弓から奏でられる優しいチェロの音色に驚きながらも、若いトリオの演奏に何かしら可能性を感じることができました。

## 6. 第16回ハンガリーデー（夕べ）華やかに開催（4月10日 下呂市水明館）

16回目の今回は、日程の都合もあって昼間の開催となり「ハンガリーデー（夕べ）」として、下呂市の水明館で開催しました。この頃、下呂市の桜は満開となり、大使一行をお迎えしました。開式に先立つミニコンサートは、高山市の今井眞理子さんと道下果奈さんの二人のピアニストが出演され、連弾と道下さんのソロ演奏を織り交ぜての楽しいコンサートとなりました。続く式典の中でボハール大使は、「水明館は、日本でも良く知られている温泉旅館だ。大使同士の間では、水明館で宿泊する話をするとうらやましがられる。美しい時期に下呂温泉に来て水明館に宿泊できたことは幸せだ」、「ハンガリーは、2,000年以上前から温泉があり、温泉療法も確立されている。今後、ハンガリーとの温泉交流ができる」と期待されていました。



「パーリンカで乾杯する大使と山田会長」

お料理は、大使館のヴィクトル・モルドバン料理長と水明館の須田大総料理長が競作した料理がコーススタイルで出されました。また、大使館から、パーリンカを始め、白ワイン、赤ワインを提供していただき、満ち足りたひとときを過ごしました。

## 7. 始まるか、笠原町タイルとペーチ市ジョルナイ陶器のセラミック交流

ハンガリーデーの前日、ボハール大使は多治見市を訪問し、岐阜県ハンガリー友好協会東濃支部長で陶芸家の加藤幸兵衛氏らと交流を深めました。これは、昨年の交流年に併せ、幸兵衛氏の陶芸展をヘレンド博物館とブダペスト歴史博物館で開催し、成功裏に終えた際、作品輸送などについて、大使にお世話になったことから設けられたものです。

続いて大使一行は笠原町に移動し、タイル工場を視察して関係者と懇談会を行いました。タイル関係者からは、「日本一生産が多い笠原町タイルが、伝統的で芸術的なタイルを造るジョルナイと連携することは、笠原町の業界にとっても良いことだ。」とエールが送られ、大使も交流の架け橋になることを約束されました。今後も交流の方法などについて、話し合いを続けていくこととなりました。

## 8. これからの予定

○大使館コンサート（6月15日 東京三田ハンガリー共和国大使館）

来場を希望される方は、別添案内により、楽友会事務局宛てに5月末までにお申込みください。

○マスターコース・マスターコンサートの日程

7月24日・25日 岐阜デイ※ 大垣女子短期大学（予定）

※修了生、留学生対象の教授によるレッスンです。

7月29日 マスターコンサート 東京都調布市 仙川アヴェニュー・ホール

8月1日 マスターコンサート 岐阜市 サラマンカホール

8月2日～6日 マスターコース（レッスン）

8月7日 留学選考会

○アニフの舞台～世界の新しい音楽家のための国際音楽祭～（日本ザルツブルク同好会に協力、8月20日～22日）

○12月に大使館コンサートを計画しています。

○12月に総会を計画しています。